

精神的健康と病気という1つの仮想的な連続体にそって、心理的、社会的、職業的機能を考慮してください。身体的（または環境的）制約による機能の障害は含めないでください。また、たとえば45、68、72のように、それが適切ならば、中間のコードを用いてください。

91~100点	広範囲の行動にわたって最高に機能しており、生活上の問題で手に負えないものは何もなく、その人の多数の長所があるために他の人々から求められている。症状は何もない
81~90点	症状が全くないか、ほんの少しだけ（例：試験前の軽い不安）、すべての面でよい機能で、広範囲の活動に興味をもち参加し、社会的にはそつがなく、生活に大体満足し、日々のありふれた問題や心配以上のものはない（例：たまに、家族と口論する）
71~80点	症状があったとしても、心理的社会的ストレスに対する一過性で予期される反応である（例：家族と口論した後の集中困難）、社会的職業的または学校の機能にごくわずかな障害以上のものはない（例：学校で一時遅れをとる）
61~70点	いくつかの軽い症状がある（例：抑うつ気分と軽い不眠）、または社会的、職業的または学校の機能に、いくらかの困難がある（例：時にずる休みしたり、家の金を盗んだりする）が、全般的には機能はかなり良好であって、有意義な対人関係もかなりある。
51~60点	中等度の症状（例：感情が平板的で、会話がまわりくどい、時に、恐慌発作がある）、または社会的、職業的、または学校の機能における中等度の障害（例：友達が少ない、仲間や仕事の同僚との葛藤）
41~50点	重大な症状（例：自殺の考え、強迫的儀式がひどい、しょっちゅう万引きする）、または社会的、職業的または学校の機能において何か重大な障害（友達がいない、仕事が続かない）
31~40点	現実吟味か意志伝達にいくらかの欠陥（例：会話は時々、非論理的であいまい、または関係性がなくなる）、または仕事や学校、家族関係、判断、思考、または気分など多くの面で粗大な欠陥（例：抑うつ的な男が友人を避け家族を無視し仕事ができない。子供が年下の子供を殴り、家で反抗的で、学校では勉強ができない）
21~30点	行動は妄想や幻覚に相当影響されている、または意志伝達や判断に粗大な欠陥がある（例：時々、破裂、ひどく不適切にふるまう、自殺の考えにとらわれている）、またはほとんどすべての面で機能することができない（例：1日中、床に横たっている、仕事も家庭も友達もない）
11~20点	自己または他者を傷つける危険がかなりあるか（例：死をはっきり予期することなしに自殺企図、しばしば暴力的、躁病性興奮）、または時には最低限の身の清潔維持ができない（例：大便を塗りたくる）、または意志伝達に粗大な欠陥（例：ひどい破裂が無言症）
1~10点	自己または他者をひどく傷つける危険が続いている（例：何度も暴力を振るう）または最低限の身の清潔維持が持続的に不可能または死をはっきり予測した重大な自殺行為
0点	情報不十分

点

第 1 回 「薬と治療に関する調査」 調査用紙

記入方法

- アンケート用紙は 8 枚綴りになっています。記入漏れがないようにすべての項目に記入してください。
- 分かりにくい質問が含まれているかもしれませんが、あまり深く考えこまないで、思ったとおりに記入してください。
- 記入が終わりましたら、「同意書」と一緒に受付へ提出してください。

△▼△▼ 記入例 △▼△▼

それぞれの質問に対して、もっともあてはまるものの番号に○をつけてください。

	1. あてはまる	2. だいたいあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
犬よりも猫が好きだ	1	2	3	4
身体を動かすことが好きだ	1	2	3	4

資料：研究②で用いた調査票（時点 1）

以下の質問について、あてはまるものの番号（1～4）に○をつけてください。

		1. あてはまる	2. だいたいあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
1	抗うつ薬を飲んでいるかぎり、それらが必要かどうか実際にはよくわからない	1	2	3	4
2	主治医は私が抗うつ薬について思うことをきちんと聞いてくれる	1	2	3	4
3	長い期間にわたり抗うつ薬を飲んでいると飲むことをやめにくい	1	2	3	4
4	抗うつ薬で私のうつの原因はなくなる	1	2	3	4
5	主治医は抗うつ薬が私のうつ病に適した治療だと私に確信させている	1	2	3	4
6	抗うつ薬を飲むと思考と感情のコントロールがしにくい	1	2	3	4
7	主治医は私の問題を聞くことにじゅうぶんな時間をとる	1	2	3	4
8	気分がよい日は処方されているより少ない錠剤を飲むかもしれない	1	2	3	4
9	抗うつ薬は性格を変えることがある	1	2	3	4
10	私のパートナー（いない場合はもっとも近い関係の家族）は抗うつ薬が私の状態に適した治療だということを認めている	1	2	3	4
11	抗うつ薬はストレスや問題のために脳で起こった変化を正す	1	2	3	4
12	主治医は私のうつの原因をじゅうぶんに説明している	1	2	3	4
13	私の身体は抗うつ薬依存になることもありうる	1	2	3	4
14	主治医は私の情緒的な問題を話し合う時間をじゅうぶんにとる	1	2	3	4

資料：研究②で用いた調査票（時点1）

		1. あてはまる	2. だいたいあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
15	主治医はうつについてじゅうぶんに私に説明している	1	2	3	4
16	主治医は抗うつ薬治療についての私の意見や感情にじゅうぶんに配慮している	1	2	3	4
17	抗うつ薬は問題についてあまり心配しないよう私を助ける	1	2	3	4
18	私のパートナー（いない場合はもっとも近い関係の家族）はうつが私の状態に対する正しい診断だと認めている	1	2	3	4
19	私は主治医からじゅうぶんな心理的サポートと励ましを受けている	1	2	3	4
20	主治医は私の状況を完全に理解している	1	2	3	4
21	主治医は抗うつ薬を定期的に飲むことが重要であると強く強調する	1	2	3	4
22	主治医は私の問題にほんとうに関心を示している	1	2	3	4
23	ある日もし抗うつ薬を飲み忘れたら次の日にその分追加して飲むほうがよい	1	2	3	4
24	身体が抗うつ薬に慣れてきかなくなりうる	1	2	3	4
25	主治医はゆううつになることがどういうことなのか伝えるときちゃんと聞く	1	2	3	4
26	よりゆううつである日は処方されているよりも多くの錠剤を飲むかもしれない	1	2	3	4
27	主治医はうつにおける私の感情や思考を完全に理解している	1	2	3	4
28	主治医は抗うつ薬とその効能、副作用についてきちんと説明している	1	2	3	4

資料：研究②で用いた調査票（時点1）

		1. あてはまる	2. だいたいあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
29	主治医はうつの原因と私が考えていることをきちんと聞いている	1	2	3	4
30	ときおり薬を抜かすことが身体が抗うつ薬に慣れて効かなくなるのを防いでいる	1	2	3	4
31	私のうつは私の性格と関連した要因のみによるものだと思う	1	2	3	4
32	私の情緒的な問題は抗うつ薬によって解決される	1	2	3	4
33	抗うつ薬は私を強くするので私は問題にもっと効果的に対処することができるだろう	1	2	3	4

以下の質問について、あてはまるものの番号（1～4）に○をつけてください。

		1. あてはまる	2. だいたいあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
34	今日の診察で、心配事や問題を話し合うことができた	1	2	3	4
35	今日の診察で、話したいことを要領よく話すことができた	1	2	3	4
36	うつ病の治療に積極的に関わっていきたいと思う	1	2	3	4
37	うつ病について、正確な知識を持っていると思う	1	2	3	4

資料：研究②で用いた調査票（時点1）

最近のあなたの状況にあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

38	<ul style="list-style-type: none"> 1. 憂うつではない 2. 憂うつである 3. いつも憂うつから逃れることができない 4. 耐えがたい程、憂うつで不幸である
39	<ul style="list-style-type: none"> 1. 将来について悲観してはいない 2. 将来について悲観している 3. 将来に希望がない 4. 将来になんの希望もなく、よくなる可能性もない
40	<ul style="list-style-type: none"> 1. それほど失敗するようには感じない 2. 普通の人よりよく失敗するように思う 3. 過去のことをふりかえれば、失敗のことばかり思い出す 4. 人間としてまったく失敗だと思う
41	<ul style="list-style-type: none"> 1. 以前と同じように満足している 2. 以前のようにものごとが楽しめなくなった 3. もう本当の意味で満足することなどできない 4. 何もかもうんざりする
42	<ul style="list-style-type: none"> 1. 罪の意識など感じない 2. とくどき罪の意識を感じる 3. ほとんどいつも罪の意識を感じる 4. いつも罪の意識を感じる
43	<ul style="list-style-type: none"> 1. 罰を受けるとは思わない 2. 罰を受けるかもしれない 3. 罰せられることに値する人間だ 4. 罰してほしい
44	<ul style="list-style-type: none"> 1. 自分自身に失望していない 2. 自分自身に失望している 3. 自分自身にうんざりする 4. 自分自身を憎む
45	<ul style="list-style-type: none"> 1. 他の人よりも自分が劣っているとは思わない 2. 自分の弱点やあやまちを許せない 3. 失敗した時は、いつも自分を責める 4. 自分はあやまちだらけの人間だと思う
46	<ul style="list-style-type: none"> 1. 自殺しようとは思わない 2. 死にたいと思うことはあるが、自殺を実行しようとは思わない 3. 自殺したいと思う 4. チャンスがあれば、自殺するつもりである

→46-1 へ

資料：研究②で用いた調査票（時点1）

*46) で, 2, 3, 4 を選択された方のみお答え下さい。

46-1	そのような気持ちを主治医に相談する	0. いいえ	1. はい
------	-------------------	--------	-------

46-2 相談しない理由は(どれか1つに○)

1. 人に自分の気持ちを話すのは苦手だから
2. 相談するきっかけがつかめないから
3. どのように伝えればよいか分からないから
4. 他人に話す内容ではないと思うから
5. 診察時間が短いから
6. 診察室の環境
(他の患者に聞こえてしまうなど)
7. 主治医との関係が希薄だから
8. その他
()

46-3 主治医はそのような気持ちを理解していると思いますか。

1. 理解している
2. ある程度、理解している
3. あまり、理解していない
4. 理解していない

47	<ol style="list-style-type: none"> 1. いつも以上に泣くことはない 2. 以前よりも泣く 3. いつも泣いてばかりいる 4. 以前は泣くことができたが、今はそうしたくても泣くこともできない
----	--

48	<ol style="list-style-type: none"> 1. 以前よりもイライラしない 2. いつもより少しイライラしている 3. しょっちゅうイライラしている 4. 現在はたえずイライラしている
----	---

49	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他人に対して興味関心を失っていない 2. 以前よりも他人に関心がない 3. 他人に対する関心はほとんど失った 4. 他人に対してまったく無関心になり、人のことなどどうでもよい
----	---

50	<ol style="list-style-type: none"> 1. いつも同じように決断することができる 2. 以前よりも決断を延ばす 3. 以前よりも決断がはるかに難しい 4. もう自分では全く決断することができない
----	---

資料：研究②で用いた調査票（時点1）

51	<ul style="list-style-type: none"> 1. いつもの自分より見かけが変わったとは思わない 2. 老けて見えるのではないか、魅力がなくなったのではないかと心配である 3. もう自分には魅力がなくなった 4. 自分が醜く、人に不快な感情を与えていると思う
52	<ul style="list-style-type: none"> 1. いつも通りに働ける 2. 何かやり始めるのに、以前より努力がいる 3. 何をするにも、大変努力がいる 4. 何をすることもできない
53	<ul style="list-style-type: none"> 1. いつも通りに眠れる 2. 以前より朝起きた時に疲れている 3. いつもより1～2時間早く目が覚めて、その後寝付かれない 4. 毎朝早くから目が覚めて、5時間以上眠れない
54	<ul style="list-style-type: none"> 1. いつもより疲れた感じはしない 2. いつもより疲れやすい 3. 何かするとすぐ疲れる 4. 疲れて何もできない
55	<ul style="list-style-type: none"> 1. いつも食欲は変わらない 2. いつもより食欲が落ちた 3. ほとんど食欲がない 4. まったく食欲がない
56	<ul style="list-style-type: none"> 1. ほとんど体重は変わらない 2. 最近2キロ以上やせた 3. 最近4キロ以上やせた 4. 最近6キロ以上やせた
57	<ul style="list-style-type: none"> 1. 健康のことを心配することはない 2. 痛みや胃の悪さ、便秘など 身体のことがかいつも心配だ 3. 身体の不快感が気がかりで、他のことがあまり考えられない 4. 身体の不快感で、他のことがまったく考えられない
58	<ul style="list-style-type: none"> 1. 性欲はいつもとかわらない 2. 以前と比べて性欲がない 3. 性欲はほとんどない 4. 性欲はまったくない

資料：研究②で用いた調査票（時点1）

59 普段、うつ病の薬やうつ病全般についての情報をどこで入手していますか。
あてはまるものの番号すべてに○をつけてください。

1. 診察のときに主治医に聞く 2. インターネット 3. 本や雑誌 4. テレビ 4. 新聞の特集記事 5. 同じ病気の人との会話のなかで 6. 待合室においてあるパンフレットから 7. その他 ()

最後に、あなた自身についてお尋ねします。

60 年齢は？

歳

61 性別は？

1. 男

2. 女

62 最初に精神科・神経科を受診したのはいつですか？

年

カ月前

63 最終学歴は？

1. 中学校

2. 高校

3. 専門学校

4. 短大

5. 大学

6. 大学院

7. その他

64 職業は？

1. 知的専門職

2. 営業

3. 事務

4. 販売

5. 肉体労働

6. 主婦

7. 学生

8. その他

65 婚姻状況は？

1. 未婚

2. 既婚

3. 離婚

4. 死別

5. その他

ご協力ありがとうございました

資料：研究②で用いた調査票（時点1）

第2回 「薬と治療に関する調査」調査用紙

記入方法

- アンケート用紙は8枚綴りになっています。記入漏れがないようにすべての項目に記入してください。
- 分かりにくい質問が含まれているかもしれませんが、あまり深く考えこまないで、思ったとおりに記入してください。
- 記入が終わりましたら、「同意書」と一緒に受付まで提出してください。

△▼△▼ 記入例 △▼△▼

それぞれの質問に対して、もっともあてはまるものの番号に○をつけてください。

	1. あてはまる	2. だいたいあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
犬よりも猫が好きだ	①	2	3	4
身体を動かすことが好きだ	1	2	③	4

資料：研究②で用いた調査票（時点2）

以下の質問について、あてはまるものの番号（1～4）に○をつけてください。

		1. あてはまる	2. だいたいあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
1	抗うつ薬を飲んでいるかぎり、それらが必要かどうか実際にはよくわからない	1	2	3	4
2	主治医は私が抗うつ薬について思うことをきちんと聞いてくれる	1	2	3	4
3	長い期間にわたり抗うつ薬を飲んでいると飲むことをやめにくい	1	2	3	4
4	抗うつ薬で私のうつの原因はなくなる	1	2	3	4
5	主治医は抗うつ薬が私のうつ病に適した治療だと私に確信させている	1	2	3	4
6	抗うつ薬を飲むと思考と感情のコントロールがしにくい	1	2	3	4
7	主治医は私の問題を聞くことにじゅうぶんな時間をとる	1	2	3	4
8	気分がよい日は処方されているより少ない錠剤を飲むかもしれない	1	2	3	4
9	抗うつ薬は性格を変えることがある	1	2	3	4
10	私のパートナー（いない場合はもっとも近い関係の家族）は抗うつ薬が私の状態に適した治療だということを認めている	1	2	3	4
11	抗うつ薬はストレスや問題のために脳で起こった変化を正す	1	2	3	4
12	主治医は私のうつの原因をじゅうぶんに説明している	1	2	3	4
13	私の身体は抗うつ薬依存になることもありうる	1	2	3	4
14	主治医は私の情緒的な問題を話し合う時間をじゅうぶんにとる	1	2	3	4

資料：研究②で用いた調査票（時点2）

		1. あてはまる	2. だいたいあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
15	主治医はうつについてじゅうぶんに私に説明している	1	2	3	4
16	主治医は抗うつ薬治療についての私の意見や感情にじゅうぶんに配慮している	1	2	3	4
17	抗うつ薬は問題についてあまり心配しないよう私を助ける	1	2	3	4
18	私のパートナー（いない場合はもっとも近い関係の家族）はうつが私の状態に対する正しい診断だと認めている	1	2	3	4
19	私は主治医からじゅうぶんな心理的サポートと励ましを受けている	1	2	3	4
20	主治医は私の状況を完全に理解している	1	2	3	4
21	主治医は抗うつ薬を定期的に飲むことが重要であると強く強調する	1	2	3	4
22	主治医は私の問題にほんとうに関心を示している	1	2	3	4
23	ある日もし抗うつ薬を飲み忘れたら次の日にその分追加して飲むほうがよい	1	2	3	4
24	身体が抗うつ薬に慣れてきかなくなりうる	1	2	3	4
25	主治医はゆううつになることがどういうことなのか伝えるとききちんと聞く	1	2	3	4
26	よりゆううつである日は処方されているよりも多くの錠剤を飲むかもしれない	1	2	3	4
27	主治医はうつにおける私の感情や思考を完全に理解している	1	2	3	4
28	主治医は抗うつ薬とその効能、副作用についてきちんと説明している	1	2	3	4

資料：研究②で用いた調査票（時点2）

		1. あてはまる	2. だいたいあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
29	主治医はうつの原因と私が考えていることをきちんと聞いている	1	2	3	4
30	ときおり薬を抜かすことが身体が抗うつ薬に慣れて効かなくなるのを防いでいる	1	2	3	4
31	私のうつは私の性格と関連した要因のみによるものだと思う	1	2	3	4
32	私の情緒的な問題は抗うつ薬によって解決される	1	2	3	4
33	抗うつ薬は私を強くするので私は問題にもっと効果的に対処することができるだろう	1	2	3	4

以下の質問について、あてはまるものの番号（1～4）に○をつけてください。

		1. あてはまる	2. だいたいあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
34	今日の診察で、心配事や問題を話し合うことができた	1	2	3	4
35	今日の診察で、話したいことを要領よく話すことができた	1	2	3	4
36	うつ病の治療に積極的に関わっていきたいと思う	1	2	3	4
37	うつ病について、正確な知識を持っていると思う	1	2	3	4

資料：研究②で用いた調査票（時点2）

最近のあなたの状況にあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

38	<ol style="list-style-type: none"> 1. 憂うつではない 2. 憂うつである 3. いつも憂うつから逃れることができない 4. 耐えがたい程、憂うつで不幸である
39	<ol style="list-style-type: none"> 1. 将来について悲観してはいない 2. 将来について悲観している 3. 将来に希望がない 4. 将来になんの希望もなく、よくなる可能性もない
40	<ol style="list-style-type: none"> 1. それほど失敗するようには感じない 2. 普通の人よりよく失敗すると思う 3. 過去のことをふりかえれば、失敗のことばかり思い出す 4. 人間としてまったく失敗だと思う
41	<ol style="list-style-type: none"> 1. 以前と同じように満足している 2. 以前のようにものごとが楽しめなくなった 3. もう本当の意味で満足することなどできない 4. 何もかもうんざりする
42	<ol style="list-style-type: none"> 1. 罪の意識など感じない 2. ときどき罪の意識を感じる 3. ほとんどいつも罪の意識を感じる 4. いつも罪の意識を感じる
43	<ol style="list-style-type: none"> 1. 罰を受けるとは思わない 2. 罰を受けるかもしれない 3. 罰せられることに値する人間だ 4. 罰してほしい
44	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分自身に失望していない 2. 自分自身に失望している 3. 自分自身にうんざりする 4. 自分自身を憎む
45	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他の人よりも自分が劣っているとは思わない 2. 自分の弱点やあやまちを許せない 3. 失敗した時は、いつも自分を責める 4. 自分はあやまちだらけの人間だと思う
46	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自殺しようとは思わない 2. 死にたいと思うことはあるが、自殺を実行しようとは思わない 3. 自殺したいと思う 4. チャンスがあれば、自殺するつもりである
47	<ol style="list-style-type: none"> 1. いつも以上に泣くことはない 2. 以前よりも泣く 3. いつも泣いてばかりいる 4. 以前は泣くことができたが、今はそうしたくても泣くこともできない

資料：研究②で用いた調査票（時点2）

48	<ol style="list-style-type: none"> 1. 以前よりもイライラしない 2. いつもより少しイライラしている 3. しょっちゅうイライラしている 4. 現在はたえずイライラしている
49	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他人に対して興味関心を失っていない 2. 以前よりも他人に関心がない 3. 他人に対する関心はほとんど失った 4. 他人に対してまったく無関心になり、人のことなどどうでもよい
50	<ol style="list-style-type: none"> 1. いつも同じように決断することができる 2. 以前よりも決断を延ばす 3. 以前よりも決断がはるかに難しい 4. もう自分では全く決断することができない
51	<ol style="list-style-type: none"> 1. いつもの自分より見かけが変わったとは思わない 2. 老けて見えるのではないか、魅力がなくなったのではないかと心配である 3. もう自分には魅力がなくなった 4. 自分が醜く、人に不快な感情を与えていると思う
52	<ol style="list-style-type: none"> 1. いつも通りに働ける 2. 何かやり始めるのに、以前より努力がいる 3. 何をするにも、大変努力がいる 4. 何をすることもできない
53	<ol style="list-style-type: none"> 1. いつも通りに眠れる 2. 以前より朝起きた時に疲れている 3. いつもより1～2時間早く目が覚めて、その後寝付かれない 4. 毎朝早くから目が覚めて、5時間以上眠れない
54	<ol style="list-style-type: none"> 1. いつもより疲れた感じはしない 2. いつもより疲れやすい 3. 何かするとすぐ疲れる 4. 疲れて何もできない
55	<ol style="list-style-type: none"> 1. いつも食欲は変わらない 2. いつもより食欲が落ちた 3. ほとんど食欲がない 4. まったく食欲がない
56	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほとんど体重は変わらない 2. 最近2キロ以上やせた 3. 最近4キロ以上やせた 4. 最近6キロ以上やせた

資料：研究②で用いた調査票（時点2）

57	1. 健康のことを心配することはない 2. 痛みや胃の悪さ、便秘など 身体のことがかいつも心配だ 3. 身体の不快感が気がかりで、他のことがあまり考えられない 4. 身体の不快感で、他のことがまったく考えられない
----	---

58	1. 性欲はいつもとかわらない 2. 以前と比べて性欲がない 3. 性欲はほとんどない 4. 性欲はまったくない
----	---

59 この1～2ヶ月の間に、うつ病に関するパンフレット「こころのセルフチェック
うつ病を正しく理解するために」を医療機関からもらいましたか。

1. もらった	2. もらっていない
---------	------------

60 59) の質問で1と回答した人のみお答え下さい。
パンフレットの内容はためになりましたか。

1. ためになった	2. まあまあためになった
3. あまりためにならなかった	4. ためにならなかった

61 この1～2ヶ月の間に、「診察時チェックリスト」を医療機関からもらいましたか。

1. もらった	2. もらっていない
---------	------------

62 61) の質問で1と回答した人のみお答え下さい。
診察時チェックリストはためになりましたか。

1. ためになった	2. まあまあためになった
3. あまりためにならなかった	4. ためにならなかった

63 現在、診察の他にカウンセリングなどの対面による心理的なサポートを受けていますか？

1. なし	2. あり
-------	-------

ご協力ありがとうございました

資料：研究②で用いた調査票（時点2）

うつ病治療に関する調査の同意書

以下の内容をよくご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

■目的

本研究の目的は、うつ病や抗うつ薬に関する知識について調査することです。

■方法

調査を2回行います。

1. 1回目の調査は本日行います。待合室等で調査用紙にご記入ください。記入が済んだら、受付へお渡しください。
2. 2回目の調査は、1ヶ月半後にもう一度行います。

*質問にお答えいただくお礼として、少額ですが1000円の図書券をお渡しさせていただきます。

■プライバシーの保護

回答のプライバシーは完全に保護されます。また、回答の集計は統計的な形のみで行われます。

■アンケートの分析結果の提示

アンケート調査の分析結果は、「うつ」に関する治療向上のために学術的な形で報告する予定です。この際、個人情報とは完全に切り離して、統計的分析結果として結果を提示いたします。

■研究に参加しないことによる不利益

本研究に参加することに同意しても、それはいつでも撤回できます。また、回答を拒否されても、治療上の不利益は一切生じません。

国立精神・神経センター武蔵病院
樋口輝彦 殿

わたし（氏名）_____（生年月日）_____年__月__日生

（住所）_____は、うつ病治療に関する調査について、説明を受け理解しましたので、本研究に被験者として参加することに同意します。

同意年月日 平成_____年__月__日

資料：研究②で用いた同意書

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
吉川和男	指定通院医療機関と地域社会における処遇上の問題点	日精協誌	24	40-44	2005
平林直次, 津久江亮太郎	医療観察法指定医療機関における問題	臨床精神医学	増刊号	261-266	2005
平林直次	心神喪失者等医療観察法における指定入院医療機関の役割-厚生省ガイドラインから	日本精神病院協会雑誌	24	24-28	2005
下津咲絵, 堀川直史, 坂本真士, 坂野雄二	統合失調症におけるセルフスティグマとその対応	精神科治療学	20	471-475	2005
下津咲絵, 坂本真士, 堀川直史, 富高辰一郎, 坂元薫, 坂野雄二	受療行動に関するセルフエフィカシー尺度の作成と信頼性・妥当性の検討	行動医学研究	11	7-13	2005
境泉洋, 川瀬英理, 下津咲絵, 坂野雄二	怒り喚起状態における自動思考と行動が怒り低減に及ぼす影響-Thought List法による検討-	早稲田大学臨床心理学研究	4	69-80	2005
吉川和男	心神喪失者等医療観察法制度における精神医療-矯正施設への影響と課題-	こころの臨床 a la carte	24	329-334	2005
吉川和男	医療観察法と精神鑑定-制度の概要と精神鑑定の役割-	司法精神医学	2	32-38	2006
吉川和男	精神障害と犯罪-統合失調症と犯罪-	司法精神医学	3	202-210	2006
竹島正, 立森久照, 吉川和男	精神医療と心神喪失者等医療観察法の運用-指定通院医療機関	司法精神医学	5	221-225	2006
吉川和男	司法精神医療に必要な知識-リスクアセスメントの理論と実践-	司法精神医学	5	296-303	2006
三澤孝夫, 平林直次	司法精神医療・福祉分野におけるケアマネジメント	司法精神医学	5	319-334	2006
小松容子	社会復帰援助	司法精神医学	5	368-374	2006

松本俊彦, 岡田幸之, 千葉泰彦, 安藤久美子, 吉川和男, 和田 清	少年鑑別所男子入所者におけるアルコール・薬物乱用と反社会性の関係—Psychopathy Checklist Youth Version (PCL: YV) を用いた研究—	日本アルコール薬物医学会誌	41	59-71	2006
吉川和男	「医療の必要性」の判定基準と鑑定のあり方	臨床精神医学	35	251-257	2006
Izutsu T, Shimotsu S, Matsumoto T, Okada T, Kikuchi A, Kojimoto M, Noguchi H, Yoshikawa K	Deliberate Self-Harm and Childhood Hyperactivity in Junior High School Students	European Child & Adolescent Psychiatry	14	1-5	2006
樽矢敏広, 平林直次	医療観察法の問題点 指定入院医療機関の立場から	日本精神病院協会雑誌	25	44-50	2006